

# ジュニア ありがとう さようなら

# 青葉通信

## 第20号

発行  
社会福祉法人  
中日新聞社会事業団  
中日青葉学園



### ジュニアを偲んで ～ 回想録 ～

平成十二年八月下旬、その時学園の修繕工事をさせて頂いた方より「家で子犬が五匹生まれてそのうち二匹学園で飼ってほしいか？」と話があり、白い元気な子犬と、おとなしい茶色の子犬をさっさと置き、工事は帰られました。

さてさて二匹の子犬から二匹も飼えないよね!! 悩む職員と大喜びの子どもたち。それがジュニアとの出会いでした。白い子犬は「アポロ」、茶色の子犬は「ロッキー」と勝手に名前の付けられ、たちまち子どもたちの人気者になりました。

ロッキーはとてもしゃべりな子犬。皆の靴や服をかんざり、ひっぱったり。アポロはとてもしゃべりな子犬。皆の靴や服をかんざり、ひっぱったり。アポロはとてもしゃべりな子犬。皆の靴や服をかんざり、ひっぱったり。

かなり小柄なジュニアは食事にも苦労しました。離乳食を作り皆で育ててました。小屋に戻すと「キュンキュン」泣き続け人を呼び寂しいオーラ全開!! 本当に手をやきました。そうそう、よく職員室の机の下にもぐり寝ていました。特に宮田(兼山)さんの机の下が大のお気に入り。子どもたちも少ない自分のおやつをあげていましたね。

ある日、裏山の散歩中、大型犬に詰め寄せられ怖がりびつくりのジュニアと、可愛いジュニアと遊びたい大型犬でジュニアがパニック! 自分の小屋に逃げ隠れ、それ以来、裏山の散歩は嫌がって行かなくなりました。

ジュニアは毛足の長い犬種でお風呂も大変でした。水が嫌い。逃げ回るジュニアを抑える度に体をブルブル震わさせ洗っている大人も水浸し! せっかくなので洗剤のにおいが嫌なジュニアは芝生の上でにおいを取るかのようになり、ゴロゴログルグル。体は芝生だらけ! あっ! あっ! そうだ! 思い出した! 夜、よく二階の「もみ」でジュニアを歩かせていましたね。ジュニアが「いー」と大騒ぎになりましたね!

新入園児は必ずジュニアの洗礼がありました。不用意に近づくと「がぶっ!」かなりの子どもたちがやられてましたね。ジュニアにもう一度謝らなさい! といけないうことがあります。ある日、私と倉橋さんと長くなったジュニアの毛を切つてあげよう! ということになり、二人でジュニアの足の毛を切つていたら「きゃー! 毛の下!」とジュニアの大声! 毛の下で牧先生のところへ! すぐ

に処置してもらい先生に怒られ。本当にあの時はごめんなさい!!

雷も大嫌い! それを知ったジュニアのそばにいてくれませんでした。生活で悩みがたくさんある子どもたち、知らずとジュニアのそばに。子どもたちが落ち込んでいると、いつもは心を許さない子どもであつてもそつと寄り寄り、お腹を見せて甘えていましたね。どれだけたくさんの子どもたちの心を癒してきたか。

北小学校近くの牧獣医さんにジュニアの前に飼っていた「ジョン」(十七歳)そして「ジュニア」(十六歳)と二匹の犬を診ていただき先生がいつもおつちやっていた「生と死」を子どもたちに見せてください。「死」を知る。その言葉通り、ジュニアの「死」で涙を流し、寂しさを知り、命のいとわしさとはかなさを知らずともたち。ジュニアからの最後のメッセージでした。ジュニアからいっばい教えられましたね。優しさ、命の大切さ、命のはかなさ、喜び、いとわしさ。等々。本当にありがとう! 皆さんもこれからの人生、人を思いやり、助け合い、励まし、励まされ、命を大切に自分の夢に向かい自分なりに一杯生きていってほしい。ジュニアもそう言っていますよ! 六月四日に四十九日を迎えて天国に行きました。ジュニア! 皆を見守っていてね!!

平成二十八年四月十五日(金)夕方、容態が急変し、翌十六日午後六時六分、学園児童職員に見守られ静かに眠るよ。うに息を引き取りました。享年十六歳。ありがとう! ジュニア! ジョンと同じ日に天国へ行きました。ジュニア! ジョンがお迎えに来てくれたね、寂しくないよね!



あおば館元指導係長 高橋悦子 (平成二十二年三月退職)

## ドッグヒーリング

### 安心した関わり、優しい気持ち



わかば館では、平成二十六年、二十七年の二年間、動物介在療育を行いました。動物の温かい関わりを体験することや、プロگرامを通して、待つことや相手に合わせることを覚えることを目的として、男女別の二人から四人のグループで月に一度実施しました。ドッグヒーリングを行った犬は、グレフというラブラドルトリバーのセラピードッグです。プロگرامは、犬の触り方から始まり、おやつをあげることや散歩、絵本の読みかきをするなど構成されています。プロگرامの始まりと終わりに、今の気持ちや体の様子を聞き、効果を検証し、「日本子ども虐待防止学会第二十一回学術集会」に結果から発表しました。アンケートの結果からは、犬と触れ合った後に温かさを感じる、落ち着くと答える子がいました。

子どもたちそれぞれが、グレフとの関わりの中で安心を感じている様子が見られました。Y君は、顔をなめられたことをきっかけに、毎回、あいさつの後に自分の顔をグレフに近づけ、



覚えてもらっているのを確認するようになめられては喜んでいました。Mちゃんも、他児とグレフが触れあっている様子に焼きもちを焼き、離れて突っ伏していたところにグレフが寄りついてくれたことで、自分も忘れられていなかったことをうれしがっていました。他にも、ドッグヒーリングの際には他児に順番を譲ってあげる子、優しい言葉かけができた子、普段からグレフが来るのを楽しみにしている子もいました。

残念ながら、グレフは平成二十八年三月に突然病気でなくなり、天国に逝きました。子どもたちと一緒に思い出の写真を残して、たくさんのお写真の入ったアルバムを作成しました。四月には、一緒にお墓参りに行き、グレフとの思い出を振り返り、感謝を伝えるお別れをしました。

ドッグヒーリングでは、生活とは切り離れた空間の中で、同じ犬が来てくれることで、少人数の子どもと職員で関わることで、安心した関わりや優しい気持ちを持つことが感じられたのではないかと思います。

(わかば館児童指導員 加藤千聖)

## 27年度 巣立ちの会

退園を祝う「巣立ちの会」が三月十日、学園多目的ホールで開かれました。

ことしの対象者は、あおば館が高校を卒業し専門学校へ進学する女子一人、就職する男子一人、家庭に戻る男子一人、就職する男子一人、家庭に戻る男子一人、卒業する男子一人、中学を卒業、家から進学する男子一人、家庭に戻る男子一人。

三人が思い出の写真を見ながら、学園生活を振り返り、職員に感謝の気持ちを伝えました。社会事業団から中、高校卒業生十三人と、退園する小学生五人に記念品が贈られ、午後は、あおば館、わかば館に分かれてパーティで楽しく時を過ごしました。

前日の十八日は、三菱東京UFJ銀行ライブセミナーがあり、同銀行から七人にカタログギフトが手渡され、日本フレーザーデザイン協会愛知県支部の皆さんが会場に飾ったり、退園生に渡すフラワールンジを子どもたちとともに作りしました。



# 中日青葉学園ホームの取り組み

## ひのき

相手を尊重し、認める心を育む

★相手の悪い所を見つけるのではなく、良い所を見つけれられる人になれるよう、まずは大人が子どもの存在を認め尊重する。そのためにはまず大人が子どものことを知っている気にならず、もっと知ろうという姿勢が必要。そして、子どもの良い所をたくさん知り、伝え、伸ばす支援を行います。

“新たなひのき”を子どもとともに作る

★平成28年10月、あおば館では3つ目の小規模グループケアがひのきホームで開所します。どんなひのきホームを作っていくのか、子どもの意見や様子から、子どもと大人(ひのきで過ごす人)が求めるホームを作り上げていきます。

“いってきます”“ただいま”が飛び交うホームへ

★普段の何気ない会話や関わりを大事にし、子どもと多くの時間を過ごすように。また、直接的な関わりだけでなく、日々の間接業務(お世話)など、当たり前のことを子どものことを思いながら丁寧にお世話をします。それが子どもの心の安定(自分は大切にされているという感情の芽生え)につながると職員が認識し、日々の業務に勤める。ひのきホームは子どもたちが日々暮らす場所。そんな場所が心地良く、居場所と感じられるホーム作りを行います。そして、子どもたちからの自発的な“いってきます”“ただいま”の声がたくさん聞こえる、より家庭的なホームにします。

※今後、小規模に向けて職員が子どもと話し合っ中でイメージが変わってくるかもしれません。その時には、見直しをして子どもとともに作り上げていきたいです。

中日青葉学園児童養護施設あおば館・児童心理療育施設わかば館は、「暴力・暴言をなくしましょう」「子どもとともに、子どもに寄り添い、子どものニーズに応える」を掲げ、職員が子どもたちの支援に当たっています。あおば館中舎3ホーム「ひのき」「けやき」「もみじ」(同女子)、小規模2ホーム「しらかば」(同「さくら」)(幼児男女)、わかば館「もえぎ」(小学生以上男子)「あさぎ」(同女子)の取り組みを紹介します。あおば館は家庭的養護推進計画第2弾として、今年10月、ひのきホームを小規模化、定員は70人から62人に変更します。



## しらかば

大切にしたいこと～

- 思いやりの心を大切にできるように
- ほっと安心ができる場所であられるように
- 意見は話し合い・喜びや悩みは共有できるように

★ホームを築立つ時が子どもたちにとってのスタート。その日までにたくさん人の良さを感じ取り、温かい気持ちでいっぱいになれるように。自分のことは自分でやり、できないことは助けを求めながら、自立をした時に必要なことを学んでほしい。周りの人たちと手を取り合って自分らしく生きていってほしい。学園で過ごす間も築立った後も、ドアをくぐるとほっと心が休まり元気が出るような場所でありたい。そういう思いからこの取り組みを考えました。

## もみじ

環境整備

★行き届いた整理整頓  
児童が自分で片づけをしやすい工夫について考え、実行します。

一緒に考える

★子どもたちから出た意見を尊重し、何のためにどうするべきかを一緒に考え、解決していきます。

それぞれを認め合う

★お互いを認め合えるよう、大人がそれぞれの個性を認め、支え、子ども同士が認め合える関係性を作っていきます。

## けやき

すべての児童が安心できるホーム

★28年度も職員と児童とが力を合わせて、暴力・威嚇行為のない、ホーム児童みんなが安心できる楽しいホーム作りを目指します。  
★子どもたちがホームに帰ってきた時に「ホット」できる空間、キーワードに清潔でリラックスして自分の時間を楽しめる空間作りをしていきます。

## さくら

★安全で安心できる生活を基盤とし、年齢相応の成長を促しながら、考える力を育みたい。

- ・考えさせる言葉掛けを心がける。
- ・優しく温かく、目を掛け、手を掛けることを基本とするが、優しさの中にも成長を願った厳しさを意識する。
- ・叱るときは、短くピンポイントで、職員の連携が重要です。厳しいけど少し甘い、いつも安心できるチームでありたい。

## あさぎ・もえぎ

今年度は原点に立ち返り、「生活の質の向上を図るなかで未来に希望の持てる日常を取り戻す」を目標に、入所の目的をしっかりと持ち、安定した施設空間を取り戻すため、日常的な関わりで治療的視点を加味しながら、おやつづくりや園芸、刺繍、紙細工などを奨励し、生活に潤いと共感性の持てる施設づくりを進めます。



## 新人です。よろしく

(所属、名前、生まれ、一言、好きな動物)

**職員表彰**

- ▽あおば館川上知幸指導係長 中央児童相談センター施設現況分析を中心と取り組まれました。▽同館加藤有美子児童指導員、瀧本恵保育士 全国秋季セミナーを受講し、性・生に関する支援につなげる全職員が、見直し機会を作りました。
- ▽同館野村花枝・篠原江里児童指導員、角谷ひとみ保育士、青葉通信マイホーム自慢執筆特別賞。▽わかば館加藤千聖児童指導員、横井佑太心理士、ドックヒールリングについて日本子ども虐待防止学会第21回学術集会新稿大会で発表。
- ▽同館児童指導員大嶋昭範 特別に対応の難しい児童を丁寧なケア。▽第37回音楽の集い東三河大会運営チーム(代表表・あおば館浅田将義心理士)和太鼓同好会初発表、器楽演奏、幕間コントが協議して大会を盛り上げた。

**二十八年人事**

- ▽昇進 わかば館指導係長 高壽孝一(同指導係長)同指導係長 伊藤洋二(同主任指導員)あおば館事務係長 園原基治(同主任事務員)あおば館指導係長 鶴岡直樹(同主任指導員)
- ▽採用 あおば館栄養士 東みづき 北洋平、南優子、同心理士 平野明啓、介 佐野美咲、篠田知沙、同保育士 梅川野村花枝、同心理士 浅田将義、同児童指導員 岩田麻里、鈴木流風、同保育士 山本わか菜、わかば館事務係長 田崎慎太郎、同指導員 石垣儀郎 三月三十一日付け あおば館心理士 平野明啓、同保育士 瀧本恵 四月三十日付け

**わかば館看護士**▽大島方子(まご)▽しほ座 名古屋市▽友達になるために人は生まれてきた。出会えた人たちが、子どもたちと全員友達になりたい!

**あおば館保育士**▽南優子▽平成五年、名古屋市▽子どもたちと関わる時間を大切に、いつも笑顔で過ごしていきたいと思っています。

**わかば館児童指導員**▽岩見諒友▽平成三年、大阪府▽わからないことばかりですが、たくさんの方のアドバイスを吸収していきたいです!

**あおば館児童指導員**▽篠田知沙▽平成五年、岐阜県▽子どもたちと共に成長し、広い視野を持つ職員になりたいです。一生懸命がんばります。

**あおば館保育士**▽梅北洋平▽昭和五十九年、愛知県▽子どもたちの思い出や経験を共有していきたいです。子どもたちが一人ひとりが安心安全を感じられるような環境を整えたいです。そして、意見表明できる力が養えるように支援していきたいと考えています。

**あおば館児童指導員**▽佐野美咲▽平成五年、弥富市▽子どもと向き合います!!

**あおば館児童指導員**▽上杉勇介▽平成五年、岐阜県▽まだ分からないことも多くたくさん職員に相談していますが、笑顔で子どもから信頼される職員を目指して頑張りますので、よろしくお願ひします!!

**あおば館児童指導員**▽篠田知沙▽平成五年、岐阜県▽子どもたちと共に成長し、広い視野を持つ職員になりたいです。一生懸命がんばります。

**あおば館児童指導員**▽佐野美咲▽平成五年、弥富市▽子どもと向き合います!!

**あおば館児童指導員**▽上杉勇介▽平成五年、岐阜県▽まだ分からないことも多くたくさん職員に相談していますが、笑顔で子どもから信頼される職員を目指して頑張りますので、よろしくお願ひします!!

**副学园长**▽妹尾浩和▽昭和三十二年四月、神奈川県▽子どもたちが安心して居場所を作り、職員が働きやすい職場になるよう頑張ります。

**あおば館児童指導員**▽上杉勇介▽平成五年、岐阜県▽まだ分からないことも多くたくさん職員に相談していますが、笑顔で子どもから信頼される職員を目指して頑張りますので、よろしくお願ひします!!

**あおば館児童指導員**▽篠田知沙▽平成五年、岐阜県▽子どもたちと共に成長し、広い視野を持つ職員になりたいです。一生懸命がんばります。

**あおば館児童指導員**▽佐野美咲▽平成五年、弥富市▽子どもと向き合います!!

**あおば館児童指導員**▽上杉勇介▽平成五年、岐阜県▽まだ分からないことも多くたくさん職員に相談していますが、笑顔で子どもから信頼される職員を目指して頑張りますので、よろしくお願ひします!!

**半年の出来事**

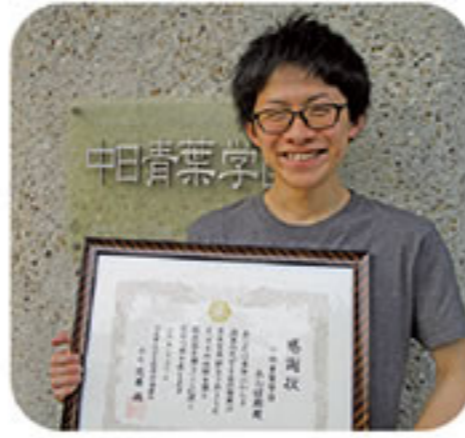
|     |  |
|-----|--|
| 25日 | いちご動物園来園                               |
| 23日 | 正予算事業計画・事業理事会で補                        |
| 20日 | しらかば伊勢神宮                               |
| 19日 | 単立ちの会、お別れパーティ、ベタニヤ幼稚園卒園式               |
| 18日 | 北小学校卒業式、UFJ銀行ライフプランセミナー、NFDファミリーアレンジ教室 |
| 13日 | 日進中学校卒業式                               |
| 4日  | 高校卒業式                                  |
| 3月  | 卒業証書授与                                 |
| 27日 | わかば館ナガシマスパーランド                         |
| 21日 | 旅立ちセミナー                                |
| 20日 | あおば館3階ナガシマスパーランド                       |
| 15日 | 親子マラソン大会                               |
| 7日  | さくらあんぱんまつり                             |
| 6日  | 中部善意銀行テニブルマナー教室                        |
| 2日  | お誕生日会                                  |
| 29日 | 積雪(雪だるま)                               |
| 28日 | 待止研習会                                  |
| 27日 | 両館被措置児童虐待防止研習会                         |
| 17日 | 伊那スキー村                                 |
| 16日 | 伊那スキー村                                 |
| 6日  | 猿投神社初詣                                 |
| 30日 | 餅つき大会                                  |
| 24日 | おば館優勝                                  |
| 22日 | ライオンズクラブを連れてクリスマス会、名古屋スポーツセンター         |
| 13日 | ドラゴンズ大島選手来園                            |
| 12日 | 中日森友隊園内整                               |
| 5日  | NFDクリスマスリース教室                          |
| 28日 | 音楽の集い東三河大会和太鼓発表会                       |
| 21日 | 音楽の集い東三河大会和太鼓発表会                       |
| 16日 | 北小学校発表会、竹の子会55周年感謝状贈呈                  |
| 14日 | 愛知韓国青年商工会焼肉訪問                          |
| 8日  | 日進市健康福祉フェスティバル                         |
| 7日  | 中部善意銀行USJ招待                            |
| 3日  | 北小運動会                                  |
| 10日 | ベタニヤ幼稚園運動会                             |
| 30日 | 日進中学校文化祭                               |
| 14日 | 県指導員監査                                 |
| 11月 | 日進中学校文化祭                               |

毎月の便り

四月から、あおば館児童玄関掲示板にお見えした月替わりの「便り」が話題になっています。六月は①水無月(みなづき)のいわれ②「水分補給をしよう」など月の目標③健康診断・理美容奉仕など行事予定のほか、「頭の体操」としてナゾナゾ問題。解答は翌月に。貼り付けには助っ人がお手伝い。相馬路子児童指導員は「みんなが楽しんでくれるとうれしい」と話しています。



子ども会活動で表彰



四月三日、日進市子ども会連絡協議会総会が、同市中央福祉センターで開かれ、近藤誠同会長からあおば館への感謝状を学園長が受け取りました。

あおば館は、地域との交流活動として、小学生(希望者)が市場町側子ども会に加入、ドッジボール・キックベースボール大会、運動会、清掃活動、夏冬のお楽しみ会、歓送迎会に参加。行事の際、学園マイクロバスでの移動、担当職員の審判派遣、学園多目的ホールの使用などで協力しています。子ども会担当の平尾直之保育士は「子ども会を通して、学園の子どもとともに地域の子保護者の皆さんと関わる事ができ、楽しんでいます」と話しています。

職員研修

中央児童・障害者相談センターから講師を招き、一月に「被措置児童虐待防止」(山村児童相談課長)、二月に「児童面接・聞き取り」(大河内企画・児童指導課長)について園内研修を行いました。虐待防止に向け、職員としてどのように向き合えば良いかを豊富な経験と分析に基づき事例を交えながら講義を受け、「虐待はいつでも、誰でも起こしうる」問題であると認識しました。面接・聞き取りは「何のために」「何を目的とし」「誰のために」を明確にし、入所児童が話をしやすくなると思える展開が職員に求められることを学び、毎日のケアワーク全てが、面接・聞き取り時に気をつけなければならぬ事柄を含んでいることを確認しました。外部へ出かける研修とは異なり、職員全員が同時に同じ研修を受けることができるのがメリットです。

また、同センターが児童福祉司向けに作成した「施設入所児童支援マニュアル」を冊子にして全職員に配布、児相と施設との協働に理解を深めています。三件について、職員全員がレポートを提出、内容を再確認しました。

現状分析

中央児童・障害者相談センターが進めている施設機能強化策第二弾として、二十六年に行ったあおば館、わかば館合同職員研修「施設の現状と課題」施設内不対応の理解と対応に続き、今回は、あおば館「現状分析」を受けました。児童の構成、職員体制、過去の事例・対応から見える課題を洗い出し、職員が共有し、今後のケアにつなげます。

青葉まつり

第十九回青葉まつりは十月三十一日、退園生、保護者、地域の子どもたちも集まり、全日本アマチュアズメント施設協業者協会連合会協力の無料ゲームや子どもたちがホームごっこに運営するたこ焼きなどの模擬店のほか盛りだくさんのプログラムを楽しみました。開会式では萩野幸三市長があいさつ、特別舞台で、あおば、わかば両館の児童、職員が和太鼓十台で共演、一体感をアピールしました。ボランティアの皆さんありがとうございました。



安全対策

安全対策として、分校に面した第二グラウンドにLED防犯灯三基を新設したほか、あおば館しらかば、けやきホームのベランダに目隠しフェンスを設置しました。

大学等進学支援

社会事業団の大学等進学支援として、大学、専門学校へ進学したあおば館四人、わかば館一人、あおば館退園生一人の計六人に前年度に引き続き支援金を給付しました。うち一人は専門学校を中退、この四月、大学に入り直し福祉の道に進みます。

大島選手

二十七年十月十三日、中日ドラゴンズの選手が、大島洋平選手が、学園を訪れ、選手の皆さんからの寄付金とサイン入りバットを贈ってく下さいました。短い時間の中で、サイン会とミニバッティング指導もあり、子どもたちの大島選手への親しみが深まりました。



第三者評価

第三者評価は三年に一回受審が義務付けられ、二十七年一度、評価基準が変更されました。前回受審した二十五年度から二年ですが、新しい基準をもとにあおば館は福祉サポーターセンター、わかば館は愛知県社会福祉協議会福祉サービス第三者評価事務所に依頼、受審しました。「養育治療・支援の基本方針と組織」「施設の運営管理」「適切な養育治療・支援の実施」など八十六、八十七項目にわたり評価され、その結果をケアの改善につなげています。

苦情・意見

「遊具を増やして」「いじめられる」「職員が嫌だ」など投書がありました。遊具は、今あるものを利用し、今後、検討。内容から特定できるものは、職員が関係児童に面談、その都度対応に当たっています。児童相談センターへのミニレターは、該当職員と児童の個別の関係で、修復が進んでおり、児相の了承を得ました。

ありがとうございました

二十七年秋以降、多くの方々から寄付や招待など応援を頂きました。(敬称略、順不同)  
中日ドラゴンズ選手有志、今枝久美子、共同募金会、伊達直人、大日本印刷、経政会、匿名、大島恭子、大島まさ子、愛知中央ライオンズクラブ、大島寅夫、本多豊子、中折込、服部修、日進造園組合、戸谷敏治、大島光博、大島涼子、白山宮、日本鏡餅組合、中部善意銀行、さんわコーポレーション、愛知ミタカ運輸、都筑、白竜神社、三菱商事中部支社、トヨタ自動車、愛知県アマチュアズメント施設協業者協会、近藤誠、日進市更生保護女性会、名東区更生保護女性会、全国青年司法書士協議会、マテック、興亜商事、地方紙正月連合、日産労働、三菱東京UFJ銀行、コカコーラ販売、三井物産、菅沼三佐子、名古屋グランドパス、エイト、全国シャネル協同組合、新生紙パルプ商事名古屋支店、僕のみらい、名糖産業、東ソー、ニッケミ、カール

ビー、カーブス岩崎香久山、カーブスパレマルシェ東郷、共和食品グループ、タイガーマスク基金、名古屋食品、JA愛知信連、中日新聞島岡販売店、愛知県菓子技術専門学校、中日ドラゴンズ公式ファンクラブ、春田建設、寿し正、いちご動物園、和田善都、吉番屋、日本フラーワイデザイナ、善清、桜井良雄、杉山裕太郎、村手誠、心工房、筋トシ、らんらんクラブ、渡辺公子、田中フミ子、兼松エレクトロニクス、青山琴美、真能秀久、林勇、酒井類、中野美恵子、桜井良雄、大角敏夫、尾西敬枝、中日新聞津支部販売、洞泉寺、吉兼章、名古屋市中川区倫理法人会、光ネットワーク協同組合、松井啓子、丹羽久子、三浦工業、千賀屋、楽天、相羽泰彦、愛知リーガル、大原充子、河井道子、杉本食肉産業、名古屋スポーツセンター、まる豚ラーメン、虹の架け橋、浅井正、コバック東郷三好店

平成27年度 中日青葉学園決算

| あおば館 (単位:円)       |                      | わかば館 (単位:円)       |                     |
|-------------------|----------------------|-------------------|---------------------|
| 収入の部              | 支出の部                 | 収入の部              | 支出の部                |
| 1.措置費 236,164,829 | 1.人件費 157,371,133    | 1.措置費 184,418,889 | 1.人件費 135,133,531   |
| 2.補助金 9,920,100   | 2.事務費 18,268,905     | 2.補助金 5,821,000   | 2.事務費 14,745,135    |
| 3.寄附金 4,229,973   | 3.事業費 55,962,637     | 3.寄附金 1,419,800   | 3.事業費 24,103,297    |
| 4.雑収入 5,667,864   | 4.固定資産取得 0           | 4.雑収入 2,888,738   | 4.固定資産取得 0          |
| 5.利息配当 7,876      | 5.修繕積立金 14,000,000   | 5.利息配当 7,656      | 5.修繕積立金 2,000,000   |
| 6.繰入金 3,000,000   | 6.整備費積立金 5,377,000   | 6.繰入金 2,000,000   | 6.整備費積立金 10,000,000 |
| 7.子育て支援事業 33,000  | 7.備品等購入積立金 1,000,000 | 7.助成金等 0          | 7.備品等購入積立金 800,000  |
| 8.積立金取崩 0         | 8.リース債務返済額 842,928   | 8.積立金取崩 0         | 8.リース債務返済額 651,360  |
| 9.繰越金取崩 0         | 9.次期繰越金 6,201,039    | 9.繰越金取崩 0         | 9.次期繰越金 9,122,760   |
| 合計 259,023,642    | 合計 259,023,642       | 合計 196,556,083    | 合計 196,556,083      |

社会福祉法人中日新聞社会事業団  
〒460-8511 名古屋市中区三の丸1-6-1  
中日新聞社1階  
電話 052 (221) 0580  
ファクス 052 (221) 0839  
中日青葉学園  
〒470-0131  
愛知県日進市岩崎町竹ノ山149-164  
児童養護施設「あおば館」  
電話 0561 (72) 0134  
ファクス 0561 (74) 2315  
児童心理治療施設「わかば館」  
電話 0561 (74) 7752  
ファクス 0561 (72) 7557

編集後記  
前号「ホーム自慢」に続き、本号では、各ホームの取り組みを特集しました。「子どもとともに、子どもに寄り添い、子どものニーズに応える」学園職員の意気込みを汲んでいただければ幸いです。  
犬の話が二件。いい話でもあり、悲しい話でも。喪失感のことを考えると、見送りはしないのがよかったかも。(M・M)

※児童に配慮して一部写真を処理しています。